

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第5回 議事要旨

[日 時]

令和6年8月26日(月) 18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者] (敬称略)

委員長 杉崎(学識経験者)
委員 江村(商店会)、本橋(町会)、佐藤(学校)
須藤(区民)、前田(区民)
オブザーバー 荻原(専門調査員)
ゲスト 今西(西武鉄道)、近藤(西武鉄道)

[事務局]

地域文化部	大木
東部地域まちづくり課	藤本、松本、富本
美術館再整備まちづくり課	中山
美術館再整備担当課	稲永
光が丘図書館	澤田

[傍聴者] 1名

[議事次第]

1. 開会
2. 議題
 - (1) 千川通り北側中杉通りについて
 - (2) 美術のまち構想の検討について

[配布資料]

- ・資料1 千川通り北側中杉通りについて
- ・資料2 美術のまち構想の検討について
- ・美術館および図書館 再整備イメージパース
- ・まち×アート&ブック だれもがアートを感じられるまち中村橋へ ~プロローグ~
- ・令和6年度アートマルシェ チラシ

1. 開会

委員長	・ 本日は、前半で千川通り北側の中杉通りの無電柱化について議論をし、後半で美術のまち構想について議論をしたい。
-----	---

2. 議題

千川通り北側中杉通りについて

事務局から資料1の説明

事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 千川通り北側から目白通りまでの範囲について議論をしたいと考えている。現状とこれまでの経緯について資料1に簡単にまとめている。・ 現状は、駅に近い箇所は道路幅員が7m前後あるが、それより北は多くの箇所が5.5m程度に狭くなっている。・ 地区計画が掛かっており、沿道の建物は建替え時に道路中心線から3m以上の壁面後退ルールがある。そのため、道路幅員5.5mの沿道で建替えを行う場合、道路中心（幅5.5mの1/2=2.75mの位置）から3mは建物が建てられないため、現状より25cm程度後退しないといけなくなる。・ 北向きの一方通行で、歩道と車道は分離されていない。・ 交通規制も掛かっており、7:30～9:00、16:00～19:00は歩行者専用道路となる。また、中杉通りへ入る一部の道路は平日7:30～9:00は歩行者専用道路となる。・ この地域は今までも様々なまちづくりが進められており、平成16年にバリアフリー基本構想が策定された。この時に中村橋が区内のバリアフリーモデル地区になり、美術館や図書館周辺の無電柱化がされたり、周辺の道路を一方通行化した。・ 平成21年に中村橋中杉通り沿道まちづくり協議会が発足し、まちづくり構想の検討を行った。この検討に基づき、同年に中杉通り沿道まちづくり構想が策定された。この構想では、商店街を中心に楽しく安全に回遊ができるまちを目指すことをまちの将来像とした。・ 平成22年に中村橋中杉通り周辺まちづくり協議会が発足した。（「沿道」から「周辺」に変更）・ この協議会では地区計画について検討を行い、無電柱化についても検討を行っている。・ 平成25年に中村橋駅北口地区地区計画が都市計画決定され、平成31年には沿道の方々の要望を受けて路側帯のカラー舗装を区の方で施工した。・ 平成22年にも無電柱化の検討をしている。中杉通りは道幅が狭いところに電柱も建っているため、電柱が無くなるとかなりスッキリとして通行もしやすくなるのではないかとということで、無電柱化を検討していた。・ その当時の話も踏まえ、資料1の2枚目「無電柱化について」という資料を作成した。過去に検討を重ねてきたが実現には至っていない。実現に向けてクリアすべき主な課題が3つある。
-----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つ目は無電柱化の施工方法についての課題。過去に無電柱化のための調査を行っており、狭い道路に埋設管が多く埋まっていることが分かっている。 ・ 埋設管が多いので、電線共同溝を設置するにしても難しいということが過去の検討でも挙がっている。 ・ 上記のような課題をクリアしないといけないが、以前の検討から時間も経っており、新しい技術や工法も出ている可能性があるため、この検討会で検討をするというより、区で調査をし、どうすれば実現できるのかということを検討する。 ・ 2つ目は中杉通りを都から区へ移管する必要があるという課題で、この課題も現在に至るまで解決できていない。 ・ 現状、中杉通りは都の道路であり区の道路ではない。区が無電柱化をしようとした場合、都から区へ道路を移管してもらわないといけない。現在、都とは移管についての協議を進めている。 ・ 3つ目は地上機器設置場所の確保という課題。地上機器というのは、無電柱化に必要な機器が入っている設備のことで、これを一定間隔毎に設置しないといけない。 ・ 中杉通りは地上機器を置くことのできる場所が非常に限られており、区有地もないため、民地を借りるか買うかして設置をしないといけない。 ・ それが難しい場合は、柱上設置という方法もある。これは柱の上に地上機器を設置して、一定間隔で柱を建てるという方法。 ・ 10年前には柱上設置も検討したが、好ましくないとの意見が多かった。 ・ 当時、好ましくないという意見が多かった理由としては、既存の商店街の街路灯に加えて柱上機器の柱が建つと、電柱は撤去できたとしても柱の数自体は増えてしまうのではないかという懸念があったことと、柱上機器の柱には商店街のフラッグ等が取り付けられないのではないかという懸念があった。 ・ 資料に載せている写真は戸越銀座の事例だが、柱上機器の柱に街路灯やフラッグが取り付けられているため、現在では街路灯やフラッグも取り付けることは可能なのではないかと考えている。
--	--

無電柱化について議論

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上のような経緯から、過去には無電柱化の検討はしたものの実現はしていない。 ・ 今回の説明を踏まえて、改めて無電柱化の検討をするにあたり、まずは地域として無電柱化の意向等を聞かせてほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域としては、ゆくゆくは無電柱化は当然するべきだろうという事だろうが、課題は多くある。 ・ 無電柱化を行う場合、技術的な事はクリアできたとしても、実は合意形成が難しいケースが多い。 ・ 工事時に道路を掘削するため、振動が発生する場合もあるし、地上機器を

	<p>どこに置くのかという問題もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地上機器置き場を行政側で決めるというのはなかなか難しい。地域の人達自身で自発的に置けそうな場所の目星を付けて、その地主さんと交渉をする等の調整に動かないといけない。区役所任せだと実現は難しく、地域も積極的に協力して一緒に進める必要がある。 ・無電柱化はどの地域もしてほしいもので、おそらく区内でも競争なのではないか。そういった場合に、早く無電柱化を実現するためには、地上機器を置く場所を地域側が積極的に見つけて調整するということが、かなり重要なことだと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化を進めるなら、地域からの要望があると区側も動きやすい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化の距離が長いと、その分地上機器の設置数も多くなるだろう。中杉通りは長さ 500m 程度だが、それ程多くの地上機器が必要になるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どの程度必要かは、専門業者に調査・検討してもらわないといけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都では防災関係で無電柱化をよく言っているが、どうなのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ということだと、中杉通り東側の補助 133 号線の方が無電柱化しているため、災害時は 133 号線の方を使うという考えになっていると思う。 ・やはり中杉通りを無電柱化するには、まずは地上機器の置き場所を確保しないと話は進まないと思う。 ・地上機器を道路上に置くのは難しいので、民地を使わせてもらうことになるだろうが合意形成が難しい。無電柱化はしたいが、自分の家や店の前は嫌だというケースが多いので、その交渉や調整をしていかなないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的に一番関係がある中杉通りの商店会はどう思うか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10 年前にも無電柱化の話が出た時、地中に NTT の主要幹線が通っているため、電線を新たに埋設するのは無理ではないかという話になっていた。 ・地上機器置き場所は、歩道があればいいが中杉通りには歩道がない。ならば店舗前に置くのかというと、中杉通りには間口 1 ~ 2 間程度の店舗も多く、その狭い間口の前に地上機器を置かれてしまうと営業への影響は大きい。 ・柱上設置も、以前の検討時に実際にやっている所へ見学に行ったが、思ったよりも柱がたくさん立っていた。 ・そういった様々な理由から、以前は無電柱化は難しいのではないかという話になっていた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の思いとしては、確かに課題は多いが、それでも無電柱化を進めたいのか、それとももう進めなくてもいいという考えなのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、中杉通りの裏道に電線を全て持って行き、電線は全て裏側から取る。それで中杉通りは無電柱というような方法はできないのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった方法を取っている場所もあるが、中杉通りと並行して通っているちょうど良い裏道というのが無いように思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街としては無電柱化したいと思っているのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化できるのであればしてほしいとは思っているが、先ほど言ったよ

	うな課題があって難しいという話になっている。
委員長	・区役所としては、柱上設置による無電柱化を推しているということか。
事務局	・特別に柱上設置を推しているという訳ではないが、道も狭く、地上機器の置場もなかなか無いため、柱上設置が現実的なのかと思う。
委員	・広い歩道があればいいが中杉通りにはない。店の前に地上機器を置けるのかというと、実際には難しいと思う。
委員長	・10年前に無電柱化の話をしていた時には、かなり具体的に検討をしたのか。
委員	・その通り。無電柱化した場所を見学しに行ったりもした。 ・その時に、地上機器はこの程度必要だろうという話や道路の排水はセンター型がいいとか、そういった検討もした。
委員長	・通常の道路は所謂カマボコ型で、中心が高い山型になっていて両側に水が流れて排水する形になっている。 ・その形だと道路と店に段差が出来てしまうため、カマボコ型とは逆の谷状にして、中心部に水が流れて排水するような形にするというケースもある。 ・本来は地中化の話だけではなく、そういった道路整備の話もセットにして検討をしないといけない。 ・地中化の技術は以前よりも進んでいるはずで、地上機器が小型化されているとか、地上機器の設置数も以前より少なくてもいいとかがあってもいいので、そういった調査は区の方でも進めてほしい。 ・他の自治体だと、市有地の1か所に地上機器を何個もまとめて設置しているという事例もある。
委員	・1か所から長く線を伸ばせるのなら、まとめて置いた方がいい。 ・例えば、駅前広場に設置して、そこから線を伸ばすことができるのであれば、狭い中杉通りの中に設置するよりもいいと思う。 ・また、これから新たにマンション等を建設するような場所があれば、そこと交渉をして、土地の一部を借りるか買うかをして地上機器を置かせてもらうというのでもいいかもしれない。既に建物が建っている所に無理に設置するよりも、これから建設する所に置かせてもらう方がやりやすいと思う。 ・他には、以前に参考事例を見学した時に、地上機器を地中に埋設した所にも行ったが、地中に埋設すると雨が入ってきてしまうことがあるようで、失敗したという話も聞いた。
委員長	・以前に検討した時よりも技術も状況も変わっていると思うので、今無電柱化をするとしたら、地上機器の大きさはどの程度で、何個程度設置しないといけないのか等の条件を調査する必要がある。 ・もしかしたら、最新の技術ならば意外と無電柱化できそうだという状況になるかもしれない。
委員	・例えば、横幅が広いと店の前に置けないが、高さはある代わりに幅の狭い物があるのならば、設置できるという場合もあるかもしれない。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これは技術的な話なので、検討会の中では技術的な検討というよりは、単純に地域の意見としてやりたいのかどうかという確認という認識でいいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの立場としては、中杉通りはただでさえ道幅が狭いのに電柱も建っていて通りにくいというような思いはあるのか。 ・今は一方通行になっているが昔は相互通行で、狭い道路を車が相互通行して危険だという話があって一方通行にしたという経緯もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・電柱が邪魔だというより、地震等の災害時に危険だと感じている。そういった意味でも無電柱化はできるといいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画で沿道の後退をしているが、後退したら電柱も一緒に後退する訳ではなく、電柱はそのままの位置に残ってしまっている。 ・中杉通りが都から区へ移管されれば、そういった部分も解消に向けて進んでいくのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中杉通りの道幅が広くなれば、前回の検討会で話のあった「小竹あそび」のように道を使ったイベント等もやりやすくなると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・できるのならば無電柱化はした方がいいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化については東電側も自主的に積極的に動くというより、行政や地域が積極的に動いて、地上機器の設置場所等の様々な課題をクリアして、それなら東電側も協力しますというスタンスなので、やはり地元の自主的な動きが重要。 ・まずは、区の方で現在の技術的な話等の条件を調査・整理して、それで実現できそうならば、検討会で話し合うということだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・都でも補助金があるが、無電柱化したい所は多いので競争になっている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・競争になっているということは、やはり諸条件を整えて話を持って行かないといけない。諸条件が整っていないと優先順位は高くないだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・石神井公園でも無電柱化の話は以前から出ているが実現できていない。 ・柱上設置だと線はなくなるが柱は残ってしまうので、やはり理想は柱もなくなる方がいいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今は街路灯の柱があるが、その街路灯を柱上設置と兼ねることもできる。 ・柱は残ってしまうが、それだけでも見た目は大きく変わると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、マンション等が建つことがあれば、地域として地上機器の置場を作ってほしいと要求をしてもいいと思う。 ・そのためには、どのような物をどこに置かないといけないのかという諸条件をまとめておき、準備をしておくことが重要だろう。 ・現状の地区計画では後退した部分に物を置いてはいけないのか。地上機器だけは置いていいというようにできないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状だと物は置けない。ただ、他地区では地上機器ではないが、駐輪用ラックならば置いてもいいという事例はある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・後退した所はL型溝も後退するのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・L型溝は後退せずにそのままになっている。 ・後退しても土地の買い取り等はなく民間の土地のままで、建物だけは後退

	しないといけないということ。
事務局	・地域の意見としては、無電柱化は関心があるという方向性だということは確認できた。
委員長	・そのための条件整理等を区の方でお願いします。

美術のまち構想の検討について

事務局より資料2の説明

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは美術のまち部会を開催していたが、今年度は部会の開催はないため、昨年度以降の状況を説明したい。 ・美術のまち構想の実現に向けた主な取り組みとして4項目を挙げている。 ・1つ目の「アートを感じられるまちなみ整備」は、「まち×アート&ブックだれもがアートを感じられるまち中村橋へ ~プロローグ~」という冊子を昨年度に作成し、昨年度最後の全体会の資料として委員へ配付をしている。 ・具体的な取り組みは決まっておらず、冊子中面にあるようにまちなみを統一したアートにしていきたいという大まかな方針を示している。 ・美術館設計者の平田晃久建築設計事務所にまちなみ整備の監修も委託しており、それに基づき今年度は整備可能な場所やまちなみ整備のコンセプト等の検討を進めている。 ・2つ目の「アートマルシェ」は、美術館・図書館・近隣の店等がそれぞれの特長を活かした企画を実施し、相乗効果によりまちを盛り上げるイベントを開催する。 ・昨年度にも開催し、2回目となる今年度は9/14・9/15に開催する予定。 ・新しい美術館のコンセプト「まちと一体となった美術館」の象徴的なイベントの一つとして定着させることを目指している。 ・近隣の店等の出店に加えて今年度の新たな試みとして、よりまちと一体となったイベントとするために「ねりび・あにまるぱれーど」と称して美術館のワークショップで作成した衣装を着て商店街をパレードする。パレードでは中杉通りの車両を一部通行止めにする。 ・また、図書館イベントとして「おとなのためのおはなし会」と称して、プロの方を呼んで朗読会を開催する。 ・来年度以降は、美術の森緑地を使えない可能性もあり、どのように開催するのか検討中だが、中止はせずに続けていき、地域に定着できたらと考えている。 ・3つ目は「(仮)アートコミュニケーター制度」を美術館で検討している。 ・一般から募集し、常設展でのギャラリートークや、ワークショップを行うほか、まちの中で実施する展覧会やイベントの担い手になってもらう。 ・また、近隣の商店街等から募集をして、美術館の広報スポットやワークショップ開催場所等として活動をしてもらう等、美術館応援団的な役割を担ってもらうことを考えている。 ・4つ目の「(仮)アートスポット事業」は、住民や来街者が日常的にアート
-----	--

	<p>なパフォーマンスに触れることができる場所を作るというもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういった場所を設けることで、アートの世界で活躍する人を支援し、中村橋駅周辺のまち全体がアートなまちとなっていくことを目指している。
--	--

アートマルシェについて議論

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・構想実現に向けた取り組みは以上の4項目を検討しているが、今回はアートマルシェについて意見を聞きたいと考えている。 ・アートマルシェを今後このような形で行うといいのではないかとか、こんなイベントがあるといいとか、そういった意見があれば聞きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パレードはどの範囲を予定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の森緑地から中杉通りに出て、中杉通りを北上し、目白通りの手前（日の丸薬局の手前辺り）まで行き帰ってくる経路。 ・往復で45分程度を想定している。パレード経路に入って来られる道は車両を通行止めにさせてもらう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちと一体となった」というのであれば、できるだけ範囲を広くした方がいいと思う。今のルートだと駅前も含まれておらず、中杉通りの一部だけになっている。 ・美術館やまちを皆で盛り上げるのならば、中村橋駅を中心に中杉通り全体を通るとか、もっと広い範囲を歩いた方がいい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、まちをパレードして駅前広場まで来たらそこでパフォーマンスをすとかがあってもいいと思う。 ・美術館がリニューアルオープンするまでの間に、できるだけ多くの人に見てもらい、いかにアウトリーチしていくかが大切だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に幅広く知ってもらうということが重要。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・特に来年度以降のアートマルシェは、美術館リニューアルオープンまでにどれだけの人から期待をしてもらい楽しみにしてもらえるかというきっかけ作りになると考えている。 ・来年度は工事のために美術館が一旦休館をするので、もっとまちに出て行き、幅広く知ってもらうことが必要だと考えている。区民の方からそういう意見をもらえると大変ありがたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・休館と言っても美術館が全く機能停止する訳ではなく、休館中にできることもあると思うので、そういったことを積極的にやっていくことも大切だろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もちろん休館中に行う事業もあり、そういった事もアピールしていければと考えている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・休館中だからこそできる事業もあると考えている。来年度以降のアートマルシェについても、開催時期によっては美術の森緑地は使える部分は限られてくるが、もっとまちに出て行きアピールできることもあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年11月以降は区民センターの改修工事も終わるので、そういう場をうまく活用することもできるだろう。アートマルシェもせっかく昨年度からやってきたのに、2～3年も空白期間があると忘れられてしまう。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマルシェもどれだけ多くの人に積極的に関わってもらえるかというのも重要だと思う。 ・例えば、区だけで考えるのではなく、美術館のサポーターにも協力してもらいアイデア等を出してもらおうとか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アートコミュニケーター制度は、サポーターと美術館の関わりが大切だと思う。美術館との関わりが希薄だと、サポーターを集めても結局何のためにやっているのか目的がよく分からないという状況になってしまう。 ・サポーターも一般の素人なので、美術館がどれだけ積極的に関わっていけるのが大切。 ・アートマルシェは今回は小さな子供が参加できるようなものはないのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プロのダンサーが振り付け等を指導してくれて、子供達が動物になりきったダンスをしながらパレードをする。 ・そのための事前ワークショップを今募集しているが、当日の飛び込みでも大丈夫。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アートコミュニケーター制度は、美術館がプロを呼んでワークショップ等を行うというより、区民主体で企画等を行うというイメージだと思う。 ・そういった区民主体になるためのコーディネートを、美術館側がいかに行えるかということが問われていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アートコミュニケーターのコーディネートは美術館の学芸員が行うのか。それとも、専門の人を呼んできて行うのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その辺りをどうするのかということが肝になると思う。 ・今はアートコミュニケーター制度では何をするのかということから検討を始めている状況。 ・具体的な内容が決まってくれば、コーディネートを学芸員がやるのか、それとも専門の人を呼ぶのかも決まってくると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・区民のやりたい事の実現のために、いかに調整をできるかが重要だろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたい人は多いと思うが、それをまとめられる人がいないといけない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・先週、ちょうど別の美術館に行ってきた。そこは半分は常設や企画展等のスペースだが、残り半分はフリースペースになっていて、そこで市民提案型のワークショップ等をやっていたり、学生が勉強をしていたり、自由な活動の場になっていた。 ・旧来の美術館と人の交流をどうするのがこれからの課題だろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい美術館・図書館というのは、美術館・図書館らしい部分も当然あるが、余白のような空間が結構ある。そういった余白空間で何をしていくのかということが、リニューアル後に問われていることだと思う。 ・アートマルシェにしても、美術館の中でできることも考えてもらえたらよい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆくゆくはアートコミュニケーターやアートマルシェも区は手放して、区民が主体になって自発的にやりたいことをやっていってくれるというのが理想だと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区はそういった素地はあると思う。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマルシェのようなイベントにも、もっと幅広い人が関われる余地があるといいと思う。 ・そのためのキーマンを見つける等、ただイベントをやっていくだけではなく、そういった土壌を耕していくイメージでできるといい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマルシェの出店も今は飲食が多いが、それだけではなく、例えばフリーマーケットのようなものとか、手作りのちょっとした物を出せるとか、そういった事を取り入れてもいいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・クラフト系という呼び方をするが、三軒茶屋でもクラフトマーケットと言って手作りの物を売るといったようなアートマルシェに似たこともやっている。 ・他には池袋でもクラフト系の店が多く出るイベントもやっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと文化館の2階では、区民等がハンドメイドの物を置いたりできるコーナーがある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう事に興味のある人が区内には多いということだろうから、うまく宣伝できれば参加してくれる人も多くなるのではないかな。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術館とまちが一体となる」という部分を外さなければ、「アート」というキーワードに固執しなくてもいいのかもしれない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトは必要だろうが、フリーマーケットのような形もいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アートコミュニケーターという言葉が出てきたのが最近のこと。 ・先行する美術館の事例では、学芸員と参加者が3年間程度一緒に美術館とまちを繋ぐような活動をして、その人達が卒業をした後に、今度は自発的にまちで活動を行うということが少しずつ出てきている。 ・そのため、アートコミュニケーター制度とアートスポット事業がお互いに絡んでいけばいいと思う。アートコミュニケーターをしていた方が街中でいろいろな活動を行うような事が起こっていい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった中で、まちにアンテナを張っているコーディネーター的な人がいるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アートスポットは、この場所では芸術活動をしてもいいという場所を設けて、そこで大道芸とか似顔絵作家がいるとか、そういった様々な活動をしている人が中村橋には多いという雰囲気イメージしている。 ・アートコミュニケーターの人達が、アートスポットで有名な絵画の解説をしてくれるというのも面白いと思う。そういった活動の場所を作り、発信できる環境を用意する。 ・また、アートを感じられるまちなみ整備についても、地域の方の意見を広く聞きたいと思っている。 ・いろいろなアートを感じられる物が街中にあるというのがプロローグにも書かれているが、例えばシャッターに絵を描くとか、道路に絵を描くとか、まちのいろいろなところで絵だけでなく、例えば音がなっているとか、そういった物も面白いのかもしれない。 ・その他には空き家や空き地を活用するとか、いろいろな事を検討している。そういった検討の一つとして、中村橋駅を活用できないかということで、西武鉄道さんと協議をさせてもらっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・このまちなみ整備については、地域の皆さんの意見や協力がないと難しいところなので、区としても地域に対してしっかりと説明をしていかないといけないと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化の話で出てきた地上機器に絵を描くというのも面白い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大泉の東映近くでは実際に地上機器にアニメの絵を描いている所がある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そんな地上機器なら自分の土地に置いてもいいという人も出てくるかもしれない。 ・まちなみ整備の監修を委託している平田さんは具体的な提案をしてくれるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な提案というよりは、こんなまちづくりができるといいという構想を考えてくれている。その構想に基づいて、具体的な取り組みを考えて行かないといけない。 ・そのため、平田さんが考えるコンセプトと、我々が考える取り組みを摺り合わせていき、なおかつ地域の皆さんの意見も取り入れていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場で何かできないか。一番やりやすいのは駅前広場だと思う。 ・例えば、豊島園駅はハリーポッターを全面に出していて、そのような感じで中村橋駅でも美術館に来たのだと感じられる物があるといい。
ゲスト	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり駅に降りた瞬間から、アートを感じられるようになるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・改札を出た目の前に煎餅を売っている場所があるが、あそこも使えるといいなと思っていた。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・駅から美術館までの経路を示すサインがあるが、サインくらいは何かやるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・サインは全区共通の定型の物なので、あれ自体の形を変えることは難しいが、それでも何かしら中村橋ならではの物にできるといいと思っている。 ・次回検討会は12月頃になると思うが、その頃にはもう少し具体的な取り組み等を説明できると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・よく学校の先生とも話しているのだが、学校と図書館の繋がりはあるが、美術館との繋がりが全然ない。 ・せっかく地域に美術館があるのだから学校ともっと繋がって、地域の小学生にもいろいろな関わりを持たせるようなことをしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館が学校のすぐ近くにあるので、リニューアルオープン後もそうだが、休館中にも何かしら一緒にできることがないかと検討をしてもらっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達にもたくさん来てほしいと思っている。 ・美術館がハードルの高い場所と思わずに、気軽に入ってもらえるような場所を目指したいので、学校との繋がりは大切にしたい。 ・学校との繋がりは課題の一つだと思っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・旧来の美術館・図書館は静かにしないといけない場所だったが、古い常識に囚われずに子供達が話していてもいい場所になってもいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに過ごしたい人と話したい人の住み分けができるといいと思う。

委員長	・ 目的によって住み分けをするということ。
委員	・ 先ほど空き家活用という話が出たが、そういった所でアーティストインレジデンスのようなこともできると若い人も集まり育っていき、アートなまちという感じになるのではないかと思う。
委員	・ 工事中にもネリピラボができるアートスポットのような場所があり、それがインフォメーション的な役割もあり、区民が関わることができるといいと思う。
事務局	・ もし皆さんの方でも空き家や空き地について知っている場所があるようなら教えていただくと助かる。
委員長	・ 中村橋の美術館ではあるが、練馬区全体の美術館ということでもある。 ・ そういった視点から見ると中村橋駅周辺だけでなく、もっと広い範囲の江古田とか大泉とかの練馬区全体を繋ぐようなことができるといいかもしれない。 ・ やはり美術館・図書館を建て替えるのだから、単に建物が新しくなったというだけではなく、前とは違う取り組みがあるといいと思う。
事務局	・ 美術館と図書館が一体になっている場所なので、そういった特長を活かしてここならではの取り組みができるといいと思っている。

3 . その他

事務連絡

事務局	・ 本日の議事録を作成し、出席者の皆様に確認をお願いする。 ・ 次回開催日は 12 月頃を予定している。詳細が決まり次第、改めて連絡する。
-----	--

以上